

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:2024年 2月 5日

事業所名:保育とりハのレフティ

サービス種類:児童発達支援・放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用者数に応じたスペースを確保する。	はい:95% どちらともいえない:5%	安全を確保した上で構成する。
	2 職員の適切な配置	スタッフ1人に対し、利用者1~3人の割合で配置している。活動内容や利用者の特性などに応じて変動する。	はい:86% わからない:4% ・スタッフの人数が増えて手厚いです。	引き続き実施する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚刺激を減らし、取り組む内容に集中しやすい環境づくりを意識する。	はい:100%	引き続き実施する。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	定期的な換気と毎日の清掃を徹底する。	はい:100% ・新しいのできれいです。	引き続き実施する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	利用後の振り返りや研修を行い、課題や今後の方向性についてカンファレンスしている。		引き続き実施する。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施なし		課題、改善点があれば、全体で話し合い改善していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修への参加や事業所内にて研修を行なっている。		引き続き実施する。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者から聞き取ったニーズや課題を踏まえて、子どもの様子に合わせた計画を作成する。		今後も保護者からのニーズや子どもと関わる中で見えてくる課題を、個々に合わせた方法で支援する計画を作成する。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	内容に応じた必要な関わりを個別や集団の形で取り入れられるように計画する。	はい:100%	それぞれの基本となる集団生活(園や学校)へ繋がりがりやすくなるよう、取り組む形を考えていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援に必要な項目を設定している。支援内容については具体例を挙げ、わかりやすくするよう心がけている。		引き続き実施する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画内容を見えるところに貼り、意識できるようにしている。	はい:100%	引き続き実施する。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフ全体でケースについて話し合っ、活動ごとに支援内容を考えている。		引き続き実施する。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	生活リズムを踏まえて、個別に対応する。	はい:100% ・毎回色々考えて新しいことをしてくれています。	引き続き実施する。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	同じ環境下でも遊び方を変えるなど毎回違った活動内容や狙いを考えている。		引き続き実施する。 また、子どもの意欲を第一に考え、活動内容を考える。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	利用前に活動や配慮する内容などについてスタッフ間で周知する。		引き続き実施する。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	利用後に随時、子どもの様子を共有したり、支援の振り返りをするこで、次回の活動や狙い、支援内容を参考にする。		引き続き実施する。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	利用ごとの記録の中で、支援した内容～子どもの反応や行動の変化など、書き留めておくようしている。他のスタッフが書いた記録も目を通している。		引き続き実施する。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年ごとにモニタリングを行い、計画の見直しや作成を行なっている。		引き続き実施する。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業所の相談員と情報共有をする。		引き続き実施する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者からの依頼があった時や必要性を感じたときには、保護者の確認の上で、情報共有をする。		引き続き実施する。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	学校を卒業した利用者がいないため、無し		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要な研修は周知し、参加を奨励する。		引き続き実施する。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施無し	はい:45% どちらともいえない:9% いいえ:5% わからない:41% ・保育園側がしないとのこと	要望や必要性があれば、検討する。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施無し		情報を発信し、地域と繋がれるよう努めていく。 要望に応じて、取り組み内容を検討する。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学时・契約時に、口頭や書面にて丁寧に説明している。	はい:100%	丁寧さを心がけ、理解しやすいように努めていく。
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者から聞き取ったニーズや課題を踏まえた上での子どもに合わせた計画や支援内容について、保護者にわかりやすく説明するよう心がけている。	はい:100%	引き続き実施する。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	送迎時などの際、家庭での様子を聞いた上で事業所での様子を踏まえ、関わり方などについて提案する。	はい:46% どちらともいえない:14% いいえ:14% わからない:26% ・おうちでできるトレーニングを教えて欲しいです。 ・送迎時にその日の様子を聞けるのはありがたいです。	必要性に応じて、検討する。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時に実施している。	はい:100% ・毎回丁寧に状況を教えてください。 ・毎回の連絡帳や送迎時に直接最近の状況を伝え、相談したり、次からの利用時に気をつけてもらうようお願いしたりしています。そういった事がしやすい環境でとても助かっています。	保護者の気持ちに寄り添うことを大切にする。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡帳や送迎時に実施している。	はい:86% どちらともいえない:4% わからない:10%	引き続き、子どもの課題点だけに目を向けず、周りの環境を踏まえた手立てを提案する。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者同士の交流できる機会について実施無し。	はい:18% いいえ:50% わからない:32% ・まだ入所3ヶ月でわからない。	保護者同士が交流できる機会を検討していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情・相談窓口を設置している旨を重要事項説明書に記載し、周知している。	はい:36% わからない:64%	引き続き実施する。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	送迎時や面談時に写真や動画(他児については加工処理されているもの)を見てもらうことで様子を伝わりやすくしている。必要に応じて、LINEやメールを活用する。	はい:95% わからない:5%	引き続き実施する。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	LINEやInstagramで活動や支援について発信している。	はい:73% どちらともいえない4% いいえ:9% わからない:14% ・なかなかどのように活動がされているのか直接見る機会がないため、更新するのは大変かと思いますがとても楽しみにしております。	引き続き実施する。 回数や内容については適宜検討する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	利用者・スタッフともに個人情報の取り扱いについて同意書を交わしている。個人情報を含むものは施錠できる書庫に入れて管理することを徹底している。	はい:91% わからない9%	引き継ぎ実施する。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	保護者に対して、マニュアルの策定がある旨を契約時に説明している。スタッフに対して、マニュアルをファイリングし、適宜確認できるようにしている。	はい:87% わからない:13%	保護者に対して、いつでも説明できるようスタッフが内容を把握しておく。そのための研修などを検討する。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回以上の避難訓練を実施している。	はい:73% わからない:27% ・まだ入所3ヶ月でわからない	引き続き実施する。 災害時マニュアルの見直しや災害避難用品の確認を行う。
	3 虐待を防止するための職員研修の確保等の適切な対応	年1回はマニュアルの確認などで研修を実施。		引き続き実施する。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束について該当者はいない。しかし、マニュアルを作成しスタッフ間で研修を行ない対応している。		身体拘束は行わない。必要な知識や対応は研修で学んでいく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	利用開始前に保護者に確認しており、対応等はスタッフ間で共有している。		引き続き実施する。 年に1回保護者に確認してもらう機会を設ける。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	作成しており、スタッフ間で共有している。		引き続き実施する。